

今期の所蔵作品展「MOMAT コレクション」の中から、ふたつの見どころを紹介します。

所蔵作品展「MOMAT コレクション」

小特集 70周年をふりかえる 同時代の展望と収集

会期：2022年5月17日（火）—10月2日（日）

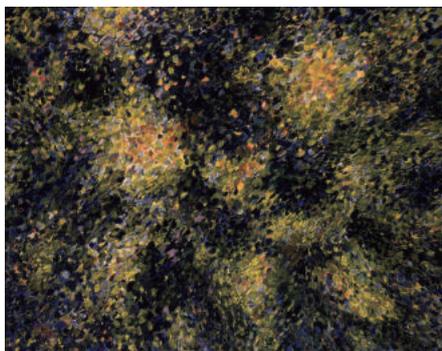
会場：東京国立近代美術館 所蔵品ギャラリー 3階7室・8室

コンテンポラリー MOMAT と同時代

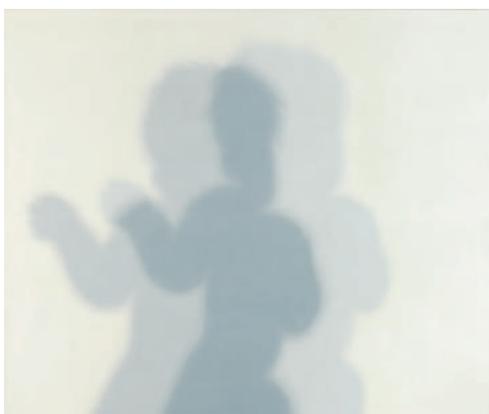
今年の12月に当館が迎える開館70周年を記念して、コレクションによって美術館の歩みをふりかえります。2つの展示室を用いて、当館が1950年代から80年代にかけて、同時代の美術とどのように並走し、展覧会と収集をどのように関連づけてきたかをご紹介します小特集です。

「近代」の名を冠する当館ですが、いわゆる「現代」の作品も随時紹介し、収集しています。若手画家の登竜門となった安井賞展（1957-97年）の初期の受賞作や、戦後に海外で活躍するようになる作家たちに目を向けた「在外日本作家展」（1965年）、1969年に当館が京橋から竹橋に移転した際の開館記念展「現代世界美術展 東と西の対話」、そして1984年から始まる「現代美術への視点」シリーズの第1回にあたる「メタファーとシンボル展」などの展覧会を機に収集された作品約30点によって、戦後美術の多様な展開をたどります。

広報用画像



1. 瑛九《午後（虫の不在）》1958年



2. 高松次郎《No.273（影）》1969年



3. 辰野登恵子《Work 84-P-1》1984年



「MOMAT コレクション」では、13,000点を超える所蔵作品から選りすぐりの約200点を、会期ごとに3フロア、12の部屋に分けて展示します。19世紀末から現代までの日本美術の歴史を、海外作品も交えながら、毎回多様な切口で紹介しています。

【プレスリリース お問い合わせ先】

東京国立近代美術館 美術課 | 広報担当 小川・堀田

TEL: 03-3214-2565 (直通) FAX: 03-3214-2576 Email: pr-f@momat.go.jp



東京国立近代美術館

小特集

ぽえむの言い分

会期：2022年5月17日（火）—10月2日（日）

会場：東京国立近代美術館 所蔵品ギャラリー 4階3・4・5室

詩と造形の関係は？

今回3つの部屋を使って、当館のコレクションから詩にまつわる約40点の作品をご覧ください。

「ポエム」というと、今日では自己陶酔的で無根拠な言葉を揶揄するために使われているのをしばしば目にします。「詩は絵のように、絵は詩のように」とは古代ローマの詩人ホラティウスに基づく格言ですが、その言葉に従うなら、詩の不遇はいずれ美術の不遇につながらないとも限りません。

高村光太郎のように美術作品を手掛ける者が同時に詩人であり、あるいは19世紀フランスのシャルル・ボードレーや日本の瀧口修造のように、詩人が美術評論を書くことは珍しくありませんでした。詩は美術にとって長らく同胞であり、憧れであり、着想源となってきました。ある仕組みのもとで色や形をかけ合わせることで、リズムを生み出したり、未知の何かを表したり、まだ誰も気がついていないことを解き明かそうとしたり。美術家たちが「詩」に託した複雑な力に思いをはせていただければ幸いです。

広報用画像



4. パウル・クレー 《花のテラス》1937年



5. 藤川勇造 《詩人M》1925年

ゲルハルト・リヒター 当館所蔵の全作品展示

1階企画展ギャラリーで開催の「ゲルハルト・リヒター展」（2022年6月7日—10月2日）にあわせて、MOMATコレクションに含まれる所蔵の全リヒター作品を展示します。

ゲルハルト・リヒター《抽象絵画（赤）》1994年、《シルス・マリア》2003年（寄託作品）、《STRIP (923-33)》2012年、《9つのオブジェ》1969年を所蔵品ギャラリー2階11室にてまとめて展示します。



6. ゲルハルト・リヒター 《抽象絵画（赤）》
1994年 ©Gerhard Richter 2022 (20042022)

【プレスリリース お問い合わせ先】

東京国立近代美術館 美術課 | 広報担当 小川・堀田

TEL: 03-3214-2565 (直通) FAX: 03-3214-2576 Email: pr-f@momat.go.jp

開催概要

タイトル：所蔵作品展「MOMAT コレクション」（しょぞうさくひんてん もまっとこれくしょん）
（英）Collection Exhibition MOMAT Collection

会場：東京国立近代美術館所蔵品ギャラリー 4階から2階

会期：2022年5月17日（火）－10月2日（日）

休館日：月曜日 [ただし7月18日、9月19日は開館]、7月19日（火）、9月20日（火）

開館時間：10:00－17:00（金・土曜は10:00－20:00）※入館は閉館30分前まで

観覧料：一般500（400）円／大学生250（200）円

※()内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込 ※金・土曜の17時以降は、割引料金。一般300円、大学生150円。
※高校生以下および18歳未満、65歳以上は無料。※障害者手帳をご提示の方とその付添者（1名）は無料。

住所：〒102-8322 千代田区北の丸公園3-1

アクセス：東京メトロ東西線「竹橋駅」（1b出口）徒歩3分

一般のお問い合わせ：050-5541-8600（ハローダイヤル）

ウェブサイト：<https://www.momat.go.jp>

主催：東京国立近代美術館

同時開催：企画展「ゲルハルト・リヒター展」2022年6月7日 [火]－10月2日 [日]

公式サイト <https://richter.exhibit.jp/>

「ゲルハルト・リヒター展」のチケットで、入館当日に限り所蔵作品展「MOMAT コレクション」、コレクションによる小企画「新収蔵&特別公開 | ピエール・ボナール《プロヴァンス風景》」もご覧いただけます。

※新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡散防止のため、開催内容、開館時間等が変更になる可能性があります。
最新情報はウェブサイトにてご確認ください。

【プレスリリース お問い合わせ先】

東京国立近代美術館 美術課 | 広報担当 小川・堀田

TEL: 03-3214-2565（直通） FAX: 03-3214-2576 Email: pr-f@momat.go.jp